



# 市議会だより

■発行/鈴鹿市議会 ■編集/鈴鹿市議会議会だより編集会議

三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL:059-382-7600 <http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>

山開き (H28・7・1)  
アマゴ放流の様子



海開き (H28・7・8)  
祝賀放水の様子

## 6月定例会の概要について

6月定例会が、6月3日から6月29日までの27日間開催されました。

開会日の3日には、「財産の取得について」「専決処分の承認について」の議案が市長から提出され、「専決処分の承認について」を承認しました。

14日から17日にかけては、21名の議員が一般質

問を行いました。

20日、21日には、各常任委員会で議案審査、所管事務調査を行いました。

29日には、付託議案の委員長報告があり、「財産の取得について」を可決しました。

### ■主な内容

6月定例会で議決した議案の概要	2
常任委員会審査状況	3
常任委員会活動状況	3
6月定例会議決一覧表	3
議会報告会開催	4
6月定例会一般質問	6
常任委員会調査事項	11
8・9月の会議日程	11

### 議員からの寄付は禁止されています

議員(候補者を含む)が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会等の行事に、寄付や差し入れなどをしたり、祝い金(出産・新築等)や贈り物をする事は、公職選挙法等により罰則をもって禁止されています。また、要求した人や受け取った人も同様に罰せられます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

# 6月定例会で議決した議案の概要

## 議案第39号 財産の取得について

中央消防署鈴峰分署に配備している災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を更新し、消防力の強化・充実を図るものです。

この最新鋭の車両は、消防本部で初めて導入するキャフス（CAFS）を搭載しており、高速道路などの消防水利がない状況や大規模災害時などにおける火災に有効な能力が期待されます。

また、車両にはさまざまな資機材が積載されており、多種多様な火災や救助に対応できるように設計されています。



更新予定車両（イメージ）

## キャフス（CAFS）とは

キャフスとは「Compressed Air Form System」の頭文字をとっており、「圧縮空気泡消化装置」という意味です。

キャフス（CAFS）は、水に一定割合の消化薬剤を混合させて圧縮空気を注入し、発泡させた状態で放射する消化装置です。泡を放射するときは、少量の水しか使用しないので、消火活動時の水損を最小限に抑えることができます。



（キャフス泡状放水状況）

## 議案第40号 専決処分の承認について

三重県後期高齢者医療広域連合への負担金の支払いにおいて、平成26年度に支払うべき一部の負担金を平成27年度予算から支払ったことにより、平成27年度決算で生じた歳入不足を速やかに補填するため、不足

相当額を繰り上げ充用する平成28年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について専決処分を行ったことの承認を求めるものです。

# 常任委員会審査状況（審査のポイント）

## 総務委員会

### 議案第39号「財産の取得について」

（質問）平成23年6月に導入された同じ型の車両と比較し高額となっているが、その理由は。

（答弁）事前に対象業者から見積もりを取り、見積もりの単価積算、本市の入札履歴の単価積算、周辺の市町の入札状況を参考にして、入札

時の予定価格を設定しており、金額については適正であると考えている。今回は、キャブス・救助資機材・放水ノズル・ホースなどの積載物品の価格が大きな額を占めている。

## 常任委員会活動状況

総務委員会では議案審査を行い、地域福祉委員会・産業建設委員会では陳情について説明を受けました。

また、各常任委員会において所管事務調査のテーマを決定し、文教環境委員会・産業建設委員会ではテーマに基づく調査を行いました。

### 総務委員会



### 文教環境委員会



### 地域福祉委員会



### 産業建設委員会



## 6月定例会議決一覧表

### 全会一致で可決した議案

議案番号	件名
議案第39号	財産の取得について
議案第40号	専決処分の承認について

# 議会報告会を開催しました!

第6回鈴鹿市議会議会報告会 平成28年4月22日(金)

午前の部 牧田コミュニティセンター 10:00~11:45  
夜間の部 石薬師公民館、河曲公民館 19:00~20:45

平成28年3月定例会の内容を中心とした議会報告会を、市内3会場に分かれて開催しました。第1部では3月定例会の報告、第2部では「防犯灯のLED化について」をテーマとした報告と意見交換会を実施しました。



## 牧田 コミュニティセンター

参加人数 36人  
大変良かった・良かった23名  
(アンケート回答者25名中)



## 石薬師公民館

参加人数 28人  
良かった 15名  
(アンケート回答者25名中)



## 河曲公民館

参加人数 47人  
大変良かった・良かった23名  
(アンケート回答者29名中)



## 報告会の内容

- 第1部 3月定例会で審議を行った新年度予算等について  
総務委員会・・・「すずか応援寄附金推進費」について  
文教環境委員会・・・「市民会館 施設耐震整備費」について  
生活福祉委員会・・・「地域支援にかかる職員の取組体制」について  
産業建設委員会・・・「燃料電池自動車・水素ステーション」について  
〔(仮称)鈴鹿PAスマートIC〕について
- 第2部 防犯灯のLED化について(生活福祉委員会調査事項)  
意見交換会

## 皆様からのご質問（一部抜粋）

**Q** ふるさと納税の返礼品は決まっているのか。(すずか応援寄附金推進費について)

**A** 返礼品の内容は未定である。今までは鈴鹿市への応援寄附金として1万円以上寄附していただいた方に返礼品として鈴鹿茶を贈呈してきた。ふるさと納税が増えるよう鈴鹿らしい返礼品を考えて、納税額が増えるよう取り組むと確認している。

**Q** 自治会予算の関係上、5年間でLEDに交換できない場合の制度継続の可能性はどうなっているのか。  
(防犯灯のLED化について)

**A** LED機器の更新を想定し5年間と区切っているが、6年目以降の灯具貸与制度の継続も検討すると確認している。

## 皆様からのご意見（一部抜粋）

- ・大筋での説明であったが、生の声での説明は理解度が深まるという点で意義があった。
- ・地域住民や自治会に関わるテーマで分かりやすかった。
- ・地域づくり支援職員について、地元の職員が派遣されるということで、協議会の委員として一緒に動けることに期待したい。
- ・国民健康保険や介護保険の値上げがつかく、生活苦につながる。住みやすいまちづくりをお願いします。
- ・ふるさと納税についてアピールしてください。まだまだ物足りなさがあると思います。
- ・防犯灯LED化に関しては活発な意見交換が行われたと思う。

※議会報告会の記録は、各会場に配置しています。

また、議会ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

今回も貴重なご意見ありがとうございました。今後の議会活動の参考とさせていただきます。

議会広報・広聴については、市議会をより身近に感じていただけるよう取り組んでまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。



## 次回の議会報告会開催日のお知らせ

**10月25日（火）**

午前の部（10：00～11：45）

夜間の部（19：00～20：45）

詳細は後日、ホームページなどにてご案内します。

## 6月定例会 一般質問(要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開していますので、ご覧ください。

### リベラル鈴鹿 水谷 進 議員

#### 防犯対策について

(質問) 平成27年の鈴鹿市における刑法犯の認知件数は2,453件であり、その約75%が窃盗犯であった。犯罪抑止のためには警察や地域の防犯組織との連携も大切であるが、防犯カメラの設置は大きな抑止効果と考えるので犯罪多発地域などへ至急設置できないか。

(答弁) 防犯カメラの設置は、犯罪抑止に大変有

効であると認識している。本年度、有効性とプライバシーの保護との調和を図り、防犯カメラに対する市民の不安を解消することを目的に、防犯カメラの適正な設置と運用に関する条例の制定を検討している。

設置する場所については、まず駅周辺など不特定多数の方々を利用、通行する場所を想定しているが、その後、設置効果を検証して警察機関と協議を行い、主要交差点や犯罪多発地域等への設置を検討する。

その他の質問 ○自殺対策について

### 公明党 藤浪 清司 議員

#### 防災対策について

(質問) 近年の大規模地震発生時においては、電気を起因とする火災が多くみられる。停電復旧後に出火する通電火災防止のため、地震の揺れを感知して自動的に電気の供給を遮断する「感震ブレーカー」設置の補助をする自治体が増えている。本市でも設置補助を行い普及を進めるべきと考えるが、いかがか。

(答弁) 阪神・淡路大震災や東日本大震災における火災の多くは、電気関係の出火が原因と分析されている。本市では、防災研修会などで簡易タイプの感震ブレーカー設置の有用性を説明し、普及促進に努めている。今後は、広報すずかに掲載して周知を図るなど、引き続き啓発を行っていく。一部自治体で実施されている感震ブレーカー購入補助制度なども調査し、普及促進の手法を研究してまいりたい。

その他の質問 ○「水銀に関する水俣条約」について  
○交通空白地域対策について

### 鈴鹿の風 中西 大輔 議員

#### 愛着を育む教育について

(質問) ①「社会的相続」における負の相続の影響を小さくするために、小学校で愛着を育む教育をするべきではないか。②子どもの居場所として学校の施設運用を見直す考えはあるか。③子どもの居場所を支援する人材について。④学校区と地域への愛着の関係をどのように考えるのか。

(答弁) ①教育基本計画では家庭・地域・学校が

ともに推進することになっている。郷土教育や環境教育の推進の中で、地域への愛着を深められると考える。②公共施設マネジメントを意識し、児童生徒の安全を第一に考え、放課後などに活用できるか検討する。③現在配置の非常勤講師に加え、地域の方々の協力を得て愛着を育みたい。④学校区と地域の関係は重要と考えている。長年親しまれた学校区は尊重しながら、学校区の見直しがある場合は、地域の方々の意見を聞きながら慎重に進める。

### リベラル鈴鹿 森田 英治 議員

#### 下水道事業について

(質問) 下水道事業(汚水)における一般会計からの繰入金について、また1世帯当たりの整備費と今後の状況について伺う。

(答弁) 平成26年度、公共下水道事業(汚水)に約21億7,700万円を繰り入れしている。既整備区域の1世帯当たりの整備費は約160万円で、今後整備する予定の地域は約180万円となる。今後、

国の補助金削減による財政上の懸念や人口減少社会への対応が求められる中、課題も多くあり、本年度、効率的な整備手法の検討業務を行うこととしている。

(意見) 財政状況が厳しい中、下水道事業(汚水)は下水合併処理浄化槽に比べ割高であり、一般会計から21億円超の繰り入れは大きな負担となっている。抜本的な整備手法の見直しを行うよう要望する。

その他の質問 ○国民健康保険について

自由民主党  
鈴鹿市議団

## 原田 勝二 議員

### 命を守る・海水浴場の水難事故防止

(質問) 千代崎・鼓ヶ浦の両海水浴場に対する地域資源活用課の考え方は。また、両海水浴場の水難事故に対する責任体制は。本件について、過去(平成25年6月議会)にも質問したが、学官連携協議会議への提案などの経過はどうなったか。両海水浴場の地域資源としての活用施策は(県下初の仮称「すずかセービングクラブ」の創設など)。

(答弁) 千代崎・鼓ヶ浦の両海水浴場は、今後も地域資源として活用する。ライフセービングクラブの創設について、鈴鹿市観光協会等と協議を重ねるとともに、学官連携協議会議にも課題を提言し前向きに取り組む。事故防止に万全を期すとともに、責任体制はしっかりと守っていく。

※ライフガードやライフセーバーが監視中であることを示す赤と黄色の旗



## 鈴鹿の風 永戸 孝之 議員

### 女性活躍推進について

(質問) 女性活躍推進法が明記している「仕事と家庭生活の両立に向けた働きやすい職場環境の整備」「社会的支援」は、SUZUKA女性活躍推進連携会議で具体的にどう取り組むのか。

(答弁) 平成26年に実施したアンケート調査の結果も踏まえ、市内事業所への訪問を行いニーズに合う実効性のある施策や民間事業所におけ

るポジティブアクション、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた女性の活躍推進につながる。仕事と家庭の両立に向けた具体的取り組みとしては、組織のトップや人事担当者など対象を絞った講演会やセミナーなど、意識啓発に重点を置いた事業を計画している。

女性の働く環境を整えることは、男性の働き方の見直しにつながり、家庭生活が豊かになる。関係部署と連携し全庁的に取り組む。

その他の質問 ○燃料電池車普及について

## 市民クラブ 中村 浩 議員

### 長太地区の水道管破裂事故について

(質問) 水道管破裂事故はなぜ起こったのか。また、被害状況と事故後の対応はどうであったか。

(答弁) 長太ノ浦第2号踏切の市道西側において、昭和49年に埋設された水道管が破損した影響で、長太旭町地内の21世帯が断水し、管内の急激な水の流速の変化により長太地区をはじめ、池田町など一ノ宮地区の一部において濁り水が

発生した。

本市は、局内にコールセンターの設置、広報車による注意喚起のほか、断水の復旧工事とともに水道管の泥吐弁からの放水による濁り水の解消作業を行った。また、要請のあったところへ順次給水に向かうとともに、長太公民館に給水拠点を設置し、容量6リットルの給水袋約3,000袋を使用するなどし、昼と夕方を中心におよそ1,000人の方に給水した。

その他の質問 ○長太小学校の屋上転落防止フェンスのパート2

## 日本共産党 橋詰 圭一 議員

### 地域づくり協議会推進について

(質問) 市の幹部職員約470人を支援職員として配置し、「鈴鹿市地域づくり推進本部」が設置され、地域づくり活動がスタートした。地域づくり協議会を作ることが、地域の絆づくり、自治会などの活動の活性化にどうつながると考えているか。具体的にどういう活動をイメージしているのか。

(答弁) 「役割分担と効果的な地域活動」につな

がる。例えば防犯パトロールでは、個々の団体や住民が共に地域づくり協議会の「防災安全部」として活動することで、地域の安心・安全につながる事業にできる。また、団塊の世代の退職者の地域活動への参加や、NPOや地域内企業との連携により、効果的な地域活動の展開も期待できる。

その他の質問

○公民館等のトイレ改修について

○「人権尊重のまち」について

**日本共産党** 森川ヤスエ 議員

一般会計繰り入れで国保の安定化を

(質問) 国保加入者の半数(51.6%)が収入ゼロか収入増が見込めない加入者であり、負担増はすでに限界を超えている。市長は市民がどこまで国保税率引き上げに耐えられると考えているか。また、国保加入者は高齢者と子どもが約半数であり、国保税を値上げすると生活費に食い込んで困窮する。高齢者への医療費支援としてはもちろんのこと、

収入のない子どもにかかる税へ一般会計から繰り入れのルール化の検討を求める。

(答弁) 国保財政を健全化させるために保険税の見直しを行ったが、被保険者の負担を抑制できるよう、保険税の収納率の向上と医療費の抑制に努めていく。一般会計繰り入れや保険税額の見直しについては、平成30年度の広域化による本市の国保財政への影響を見極めながら慎重に検討していく。

その他の質問 ○5才児健診後の発達支援体制の充実

**日本共産党** 石田 秀三 議員

地域包括ケアシステムについて

(質問) 介護保険制度の改定で、「要支援1・2」の訪問介護、通所介護が介護保険から外れて「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行することとなった。その移行期限である来年4月に向けて、実施体制はどのように進んでいるのか。現在の要支援のサービス水準を落とさずに実施することを求める。

(答弁) 総合事業への移行に向けて、鈴鹿亀山

地区広域連合と連携して準備を進めている。「要支援1・2」の認定を受けている方への現行の訪問介護、通所介護については、これまで通り利用できるよう、円滑な移行を目指していく。介護認定を受けていない方には、市の総合事業の中で、さまざまな実施主体によるサービス提供を支援する仕組みを検討していく。その要となる生活支援コーディネーターを、来年度に社会福祉協議会へ1名、その後に各地域包括支援センターへ1名配置していく。

その他の質問 ○Cバスの利用者への対応について

**緑 風 会** 今井 俊郎 議員

白子地区の雨水対策について

(質問) 白子川流域の上流において住宅建設が進んでいる。鈴鹿市総合雨水対策基本計画策定に当たり、地域的な個別の課題として白子地区浸水対策の時点修正や第3排水機場更新、白子西調整池築造、第2排水機場増強が挙げられている。過去の浸水経験から最重点地区として取り組んでいくべきであるが、どのように考えているのか。

(答弁) 議員ご指摘の通り、白子地区の浸水対策は重要度、緊急性が高く、早急に見直しが必要と認識し、喫緊の課題として検討していく。早期に浸水被害の軽減が図れるように、既存施設の評価を含め、効率的、効果的な実現の可能性を加味し、排水施設、貯留浸透施設、遊水機能を合わせて総合的に評価して浸水被害の軽減策を検討していきたいと考えている。

その他の質問 ○白子駅西駐車場について

○自治会からの要望への対応について

**自由民主党** 森 喜代造 議員  
鈴鹿市議団

詐欺対策について

(質問) ①本市の現状について。②家庭での取り組みについて。③詐欺撲滅と今後の取り組みについて。

(答弁) ①平成27年に市内で発生した特殊詐欺は14件で昨年度より5件増加し、被害総額も約8,045万円と過去最高である。また、市職員をかたる還付金詐欺が頻繁に発生し、状況は深刻で

あり、さまざまな被害防止に取り組んでいる。②自分で自分を守る「自主防犯」が大切であると考え、被害未然防止の出前講座や防犯講話などを開催し、市民の皆様が被害に遭わないよう、広報啓発活動を行っている。③鈴鹿警察署、鈴鹿地区金融機関防犯協会、鈴鹿市の三者が一体となって被害の発生抑止に努める。また、市民からの特殊詐欺に関する情報を関係機関と連携を取りながら公表し、鈴鹿警察署と共に防止活動に努めたい。

その他の質問 ○学校教育について



## 公明党 船間 涼子 議員

### 防災・減災対策の強化について

(質問) 家屋の倒壊から命を守る対策の一つである「耐震シェルター」について、本市の設置補助の対象要件は、旧耐震基準の木造住宅に住む高齢者のみの世帯や身体障害者手帳（1級～3級）を持つ人が同居する世帯であり、所得制限もある。そのため、要件を満たし補助を受けるのは難しい。広く対応できるよう、現在の補助要件の緩和を図るべきと考えるがどうか。

(答弁) 本市では平成22年度に災害時要援護者の安全を確保するために、寝室等の居室の内側を鉄骨や木質系パネルで箱型に囲む「耐震シェルター」の設置補助制度を新設した。これまでの6年間の補助実績は3件である。熊本地震以降、問い合わせも多くなり、より利用しやすい補助制度にしていきたい。新たに要介護認定3以上の方、療育手帳Aの方、精神障害者保健福祉手帳1級の方が同居する世帯を補助要件に追加し、所得制限を無くすよう検討を進める。

## 公明党 池上 茂樹 議員

### 障がい者施策について

(質問) 本年4月に、障がいを理由とする差別の解消を推進する「障害者差別解消法」が施行された。行政機関は、職員が適切に対応するために、不当な差別的取り扱いや合理的配慮の具体例を盛り込んだ「職員対応要領」を、障がい者の意見を聞きながら策定することになっているが、現状は。この法律では合理的配慮が求められて

おり、聴覚障がい者の意思疎通を図る上で、手話言語条例の制定が必要と思うが見解を聞く。

(答弁) 職員対応要領の策定は、各部局の代表で組織する意見聴取会を設置し、障がい者などの当事者団体から意見を聴取し、秋ごろをめどに策定する。また、言語としての手話の環境整備を一層進めるという観点から、手話言語条例制定に向け積極的に取り組んでいく。

その他の質問 ○がん検診について  
○投票率向上の取り組みについて

## 鈴鹿の風 平野 泰治 議員

### 農地転用許可の権限移譲について

(質問) 権限移譲は、そのメリットを十分に精査した上で受けるべきである。今回、国からの権限移譲を受けた目的は何か。また、優良農地をいかにして守っていくのか。将来の本市の発展にとって、農業振興地域内の開発は不可欠であり、必要な体制を早急に整えるべき。

(答弁) 本市の発展には、鈴鹿市都市マスター

プランに示された土地利用計画を実現することが必要であり、権限移譲によりこれを適時・迅速に行うことができる。開発による農地転用圧力が高まることから、優良農地の確保についても、農地の集約化、農家の育成、耕作放棄地対策などのほか、特産品の振興をはじめ、総合的な農業振興施策により、農業を持続的で強い産業として確立できるよう取り組んでいく。必要な事務体制についても、来年度の農業委員会の制度改正を含め、今後、その見直しや強化を検討していく。

## 市民クラブ 市川 哲夫 議員

### 子どもたちを取り巻く教育課題について

(質問) 学校における情報モラル教育について。児童生徒のネットトラブルの現状やその防止について。

(答弁) 本市の多くの児童生徒についても、携帯電話などを介してインターネットを活用し、LINEやFacebookといったソーシャル・ネットワークワーキング・サービスを利用している実

態がある。このような中、児童生徒が関わったインターネット上のトラブルやネットいじめについての報告もあった。教育委員会として、インターネットを使用する上でのルールやマナー、正しい使い方を児童生徒に十分に理解させる必要があると考えている。児童生徒が「ネット社会」を安全に生き抜いていけるように、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を発揮し、三者が連携しながら、ネットトラブルやネットいじめを未然に防ぐための取り組みを今後も行っていく。

## 緑風会 藪田 啓介 議員

### 気になる子供たちについて

(質問) 気になる子どもたち(一般的に発達障がいや愛着障がいを持っている)の就学前について、本市の考え方は。発達障がいについては就学前の取り組みが重要であるが、幼稚園・保育所での対応は。また、外国につながる子どもたちへの対応と療育センターとの連携はどうなっているのか。

(答弁) 発達障がいについては統一された定義はないが、変わった子や困った子として誤解されることが多く、対人関係を作ることが苦手な様子から教職員が気付くことが多い。本市では5歳児健診を本年度から試行し、集団適応支援を行うこととしている。対応としては、保育士の加配や職員研修であり、外国につながる子どもたちへは外国人コーディネーターの巡回などがある。療育センターとの連携としては、保育所との間で交流保育事業を実施しており、発達支援で161名の利用がある。

## リベラル鈴鹿 板倉 操 議員

### 小学校の通学区域について

(質問) まるごとの学区変更を打診された地域から、コミュニティ・スクールの実施やまちづくり協議会の設立に向けて準備しているのに対し、水を差しているとの訴えがあった。これは、「鈴鹿市立小中学校における通学区域の見直し方針」と本市が進めるまちづくりの考えにおいて、整合性がとれていない箇所が多いからだと思うがどうか。また、自治会に学区の変更を依頼、

打診した結果はどうだったのか。

(答弁) 今後の児童生徒数の推移、学校施設の状態、学校・地域・小中学校の関連性、通学距離が長い地域の負担軽減、通学の安全確保の4点を見直し方針としており、時間をかけて慎重に進めていく。また、大規模校対策3カ所、保護者からの要望への対策5カ所で学区の変更を打診したが全て断られた。原因としては自治会運営上や地域づくりとの関係によると考えているが、やはり時間をかけて説明し、理解していただくことが重要であったと考えている。

## 自由民主党 鈴鹿市議団 山中 智博 議員

### 小学校での英語教育の問題点について

(質問) 今年度から始まった新たな鈴鹿市教育振興基本計画では、英語教育を重点事業に挙げている。文部科学省も平成32年度から、小学校での英語について、成績のつく正式な教科にする予定だが本市の予定、課題は。また、全国学力テストで本市は、小中学校とも全教科で国、県平均を下回る。グローバル化社会だからこそ、国語や算数の基礎力強化が先決ではないか。

(答弁) 早期英語教育に関しては賛否両論あるが、現行、次期の学習指導要領に従い着実に推進する。英語の教科化による授業時数の増加に伴い、他教科の授業時数が削減され、思考判断の基盤となる母語による言語能力の育成が軽視される懸念もある。教育委員会としても国語力、読解力の重要性は強く認識している。学力向上についても今年度、プロジェクトチームを立ち上げた。教育指導課を中心に子ども支援課などが関わることで、組織的な取り組みを強化する。

## 鈴鹿の風 明石 孝利 議員

### 国民健康保険税赤字解消への取り組み

(質問) 本年度より国保税が値上げされ、一人当たりの国保税調定額は、三重県内で一番高くなる。その原因は、国保の平成24年度から平成27年度までの連続赤字である。過去10年以上にわたって国保税収納率が県下最下位、またはビリから2番目の最悪の低さであり、収納率の向上・改善を図らなければ、再び赤字が膨らみ、何年後

かには、またも国保税の値上げが必要となる。その改善策は、国保税を掛ける保険年金課とそれを徴収する納税課の一本化、すなわち国保税の賦課と徴収を保険年金課に一本化することである。現に一本化、あるいはそれに近い方法を取っている県内8割の市は、本市より収納率が平均3.5%以上も高い。このような改革をすべきだと思うがどうか。

(答弁) 本年度より収納率向上に向け「国保税収納対策会議」を設置・検討し、平成30年の国保の広域化に合わせて一元化を必ず実施する。

## 市民クラブ 大西 克美 議員

### 市民(自治会)要望について

(質問) 対応できていない残要望について、今後どう取り組んでいくのか。また、新しい要望へはどう対応していくのか。

(答弁) 市民生活の安全性の確保や生活環境の向上を図るため、早期に対応することが望ましいと認識しているが、事業を実施する件数に対し要望の数が上回っており、残要望件数が増加

しているのが実情である。現在の残要望約1,700件の内容については、実施が難しいものや状況が変化しているものもあり、現在のニーズに合った形で事業を進めるため、再度内容を確認したいと考えている。

今後の新しい要望への対応についても、受理した順番ではなく、必要性・緊急性・費用対効果などの精査に努め、より効率的な実施を検討し、優先すべき案件から順次進めていく。

その他の質問 ○上水道について

## 常任委員会調査事項

常任委員会では議案や請願の審査とは別に、各委員会が所管する事務についての調査を行っています。平成28年度に調査する事項は次のとおり決定しました。

### 総務委員会

- 公共施設マネジメントについて
- 指定管理者制度について

### 文教環境委員会

- 斎苑について
- 教育の情報化について
- 小中一貫教育について

### 地域福祉委員会

- 地域づくりについて
- 子どもの貧困について
- 国民健康保険事業について
- 地域包括ケアについて
- 高齢者の貧困について

### 産業建設委員会

- 下水道事業について
- 地域資源の発掘について
- 航空機産業について

## 8・9月の会議日程

※日程は変更される場合があります。

8月	5日	金	10:00	各派代表者会議 産業建設委員会(各派代表者会議終了後)	9月	13日	火	10:00	本会議(一般質問) 予算決算委員会(本会議終了後)
	12日	金	10:00	全員協議会 広報広聴会議(全員協議会終了後)		15日	木	10:00	文教環境委員会(分科会) 産業建設委員会(分科会)
	22日	月	10:00	議会運営委員会		16日	金	10:00	総務委員会(分科会) 地域福祉委員会(分科会)
	29日	月	10:00	本会議(提案説明)		20日	火	10:00	文教環境委員会(分科会) 産業建設委員会(分科会)
	30日	火	14:00	議会運営委員会		21日	水	10:00	総務委員会(分科会) 地域福祉委員会(分科会)
9月	7日	水	10:00	本会議(質疑)		26日	月	10:00	予算決算委員会 各派代表者会議(予算決算委員会終了後) 広報広聴会議(各派代表者会議終了後)
	8日	木	10:00	本会議(一般質問)		28日	水	10:00	議会運営委員会
	9日	金	10:00	本会議(一般質問)		29日	木	10:00	本会議(委員長報告・討論・採決) 全員協議会(本会議終了後) 議会だより編集会議(全員協議会終了後)
	12日	月	10:00	本会議(一般質問) 議会運営委員会(本会議終了後) 各派代表者会議(議会運営委員会終了後)					

# みなさんのご意見をお寄せください

市議会だよりに対するあなたのご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。今後の市議会だより発行の参考にさせていただきます。

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 鈴鹿市議会事務局

TEL:059-382-7600 FAX:059-382-4876 mail:giji@city.suzuka.lg.jp



## ホームページをご覧ください

鈴鹿市議会のホームページでは、議会についての紹介、議員の名簿、会議日程のご案内、請願と陳情の提出方法、会議録の検索システム、議会テレビ中継の録画配信、各会派の政務活動費の収支報告などをお知らせしています。また、最新情報については、随時トピックスでお知らせしています。ぜひご覧ください。

市議会ホームページアドレス：

<http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>

## 会議録のお知らせ

### ◆閲覧できる会議録

本会議(平成9年度以降)  
常任委員会・特別委員会・議会運営委員会・  
全員協議会(平成22年度以降)  
各派代表者会議・広報広聴会議(平成24年  
12月以降)

### ◆閲覧できる場所

- 市役所本庁舎14階の議会図書室
- 市役所本庁舎4階の行政資料コーナー

※本会議の会議録は市立図書館や各地区市民センターなどでも閲覧できます。なお、6月定例会の会議録は、8月下旬に配付予定です。

## 議会史を販売しています

平成16年までの鈴鹿市議会のあゆみがわかる書籍です。資料編・記述編(各6,000円)を販売しています。お問い合わせは議会事務局までご連絡ください。

## 市議会傍聴のご案内

### ◆傍聴できる会議

本会議・常任委員会・議会運営委員会・全員協議会・各派代表者会議・広報広聴会議・議会だより編集会議

### ◆会議開催予定

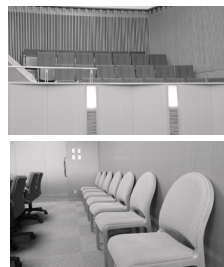
市議会のホームページや市役所の掲示板などでお知らせします。

※日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局へご確認ください。

### ◆傍聴の仕方

傍聴券は14階の議会事務局でお渡します。本会議の傍聴定員は53名(車いす席4名含む)で先着順となります。本会議以外の傍聴定員は10名で、開会30分前から受付を開始し、同10分前に締め切ります。受付締め切り時点で傍聴希望者が定員を超えた場合は抽選となります。

また、議場傍聴席にて聞きとりにくい方には、ヘッドフォンを貸し出していますので事務局へお申し付けください。



## 本会議テレビ中継のお知らせ

本会議の全日程をCNSテレビのデジタル122chで生放送します。放送時間は午前10時(開会時間)から会議の終了までです。また、市議会のホームページでは、テレビ中継した全日程の映像を定例会閉会日からおおむね2週間後に録画配信しています。

